

【会議録】

会議名	第2回港区白金三丁目保育室運営業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和4年10月24日（月曜）午後2時から午後2時40分まで
開催場所	港区赤坂地区総合支所2階中会議室
委員	出席者 5名 田中委員長、請川委員、白川委員 山本高輪地区総合支所長（副委員長）、木下保育課長（委員） ※ 請川委員、山本委員はリモート参加 欠席者 0名
事務局	高輪地区総合支所管理課長、管理課施設運営担当係長、管理課管理係担当者
会議次第	1 開会 2 第一次選考結果について 3 第二次選考について 4 閉会
配付資料	資料1 港区白金三丁目保育室運営業務委託事業候補者選考一次審査集計結果 資料2 第3回選考委員会進行スケジュール（案） 資料3 港区白金三丁目保育室運営業務委託プロポーザル第二次審査の実施に関する留意事項（案） 資料4 第二次審査採点基準表（案） 資料5 第1回港区白金三丁目保育室運営業務委託事業候補者選考委員会会議事録（案） 参考資料1 港区白金三丁目保育室運営業務委託事業候補者募集要項・仕様書（案）・選考基準 参考資料2 質問回答一覧
会議の内容	
委員長	【1 開会】 （委員長より開会の挨拶） 【議事録確認】 次第にはありませんが、資料5の第1回選考委員会会議事録について、特に修正等がなければこれで決定としてよろしいでしょうか。 （異議なし）
事務局	【2 議題審議】 議題1 第一次選考結果について （資料1について説明）

<p>委員長 A委員</p>	<p>各委員から講評をお願いします。</p> <p>A事業者、B事業者全体の点数の結果で言いますと、大きな差ではないですが、A事業者の方を高く点数を付けました。</p> <p>基本理念について、A事業者は、保育所保育指針に基づいて、10の姿のことなど記し、基本的な保育スタイルでやっていこうとする姿が感じられたのですが、B事業者はカリキュラム的、イベント的というか、プログラム中心に組んでいくのかという感じを受けました。小さいお子さんも来られる保育室なので、保育所保育指針に基づいてやるのがいいのではないかと考えており、あまりカリキュラム・プログラムという感じで進めるのはどうかと思ったので、点数を低くしました。</p> <p>3(3)の全体的な計画及び指導計画も、B事業者の評価を低くつけました。小学校や地域との連携に関しては、両事業者とも「やる」「やりたい」ということは書いてあるが、実際には具体的にどう進めるのかということ二次審査で確認したいです。</p>
<p>B委員</p>	<p>A事業者の方を高く評価したが、B事業者も普通以上はあり、またA事業者よりもいいところがあった点がいくつかありました。</p> <p>まず、基本理念については、A事業者は保育理念に10の姿などの書かれていて望ましいものもあるが、ただ、A事業所の概要のパンフレットの中で、「お母さん」という表現が何回も出てくるところが非常に気になりました。ひとり親家庭もあることを考えると「お家の人」とか、「お父さん」、「お母さん」などの表現に変えた方が望ましいのではないかと思います。一次審査を通過した際は、その点も聞いてみたいと思いました。</p> <p>B事業者も、5領域のことや幼児期の終わりまで育てほしい姿については記載はあるのですが、保育指針との関連があまり明確ではないと思いました。</p> <p>人員配置については、A事業者は、年齢クラスごとに示されていて問題ないと思いました。B事業者は基準を満たしている上に、さらに保育補助やフリー保育士を配置したゆとりがある人員構成となっているという点を評価しました。</p> <p>人員確保や人材への育成、定着については、A事業者もB事業者も、非常に研修制度など整備されていると思いました。さらに、A事業者は、紹介制度や地域を絞った採用計画など工夫が見られます。研修メニューにもきめ細やかさが感じられました。</p> <p>B事業者についても、ブラザー制度やシスター制度など、職員が定着するようなフォローアップ制度の導入というところが非常にいい点ではないかと思いました。</p> <p>保護者との関わりについては、A事業者は利用者アンケートや連絡帳を活用していること、保育者の研修制度で保育者対応のスキルアップを図ってい</p>

<p>C委員</p>	<p>る点がいいと思いました。</p> <p>B事業者は外国籍の保護者への育児相談の対応を配慮している点や、外国人保護者に対する対応が配慮されている点がいいと思いました。</p> <p>子どもの悩みやトラブルへの対応については、A事業者はケース会議、ミーティングを通して事例を共有したり、子どもに寄り添った具体的な取組ポイントがある点が良いと思い高く評価しています。</p> <p>B事業者に関しても、外部の相談体制には臨床心理士なども含まれていて、手厚いと思いました。</p> <p>障害児への対応については、両事業者とも、専門機関との連携体制が構築されていて、巡回指導や勉強会なども開催しています。</p> <p>子どもの人権やマイノリティに関して、A事業者はジェンダーバイアスを予防する仕組みができており、性的マイノリティへの記載が非常に踏み込んだ内容になっていて非常にいいと思いました。それに対してB事業者に関しては虐待予防についての保護者対応についての記載がちょっと弱いと思いました。</p> <p>近隣の小学校や地域との連携については、A事業者は、記述上は非常に色々書かれていて、地元のことをよく調べた上で、よく知っているという強みを感じました。それに対してB事業者は、ある程度連携あるが具体性に欠けるという部分がありました。</p> <p>本部の支援の体制については、A事業者は特に問題はないと思いました。B事業者は緊急対応の図式などがあると良いと思いました。</p> <p>乳幼児の活動中の安全確保については、両事業者とも取組がなされていますが、特にB事業者がいいと思った点は、お散歩確認カードを利用していることや、園外での活動で起き去りが起きないようにきめ細かく対応がされていることなどです。ヒヤリハットや怪我検証記録など、しっかりと記録を共有するシステムがあるというのが良いと思いました。</p> <p>食育への対応については、A事業者はとても具体的な取組が書かれていて、クッキング保育や園内の栽培活動など、敷地が狭い中で色々工夫がされていると思いました。それに対し、B事業者は食育についての具体的な記載がないところが残念です。</p> <p>A事業者は危機管理のワークフローが整備されている点が良いと思いました。B事業者も問題はないと思いました。</p> <p>個人情報保護について、A事業者は、個人情報保護の取組を具体的に記載している点がよいと思いました。</p> <p>A事業者の方が若干、高く評価しました。全体的に、A事業者の方が具体的な記載があったかなという点で、点差が開いたと思っています。</p> <p>基本理念についても、乳幼児及び幼児の健全育成の考え方、取組というところで、A事業者は乳児、幼児それぞれの成長に合わせた具体的な取組が考</p>
------------	--

D委員

えられていると思いました。

管理運営については、両事業者とも特に大きな差はないかと思いました。

事業内容については、保護者との関わりについての考え方や取組で、B事業者の方が外国人保護者に対する対応もかなり配慮されており優れていると思いました。ただ、子どもの悩みやトラブルへの対応、取組についての考え方は、A事業者の方が子どもに寄り添った具体的な取組ポイント、満足要因と不満足要因などをポイントとして示し、職員がしっかり対応できるようになっているところが優れていると思いました。

また、障害のある園児や、特別な支援が必要な子どもについての配慮でも、かなりしっかりと特別な支援を必要とする子どもへの職員の関わりをサポートするということで、保育の質の向上を目的とした臨床心理士やスーパーバイザーが、研修、施設ニーズにあった職員向けの研修を施設単位で実施するという点もよいと思います。

一方、B事業者は、子どもの人権に配慮した事業運営について、性的マイノリティの配慮や虐待の防止では、発見した場合の対応について一般的な書き方で具体的なフローなどがありませんでした。ここが1番重要かと思うので二次審査で聞いてみたいと思いました。

安全対策、危機管理対策についてはB事業者の方がヒヤリハット検証記録や小さな怪我検証記録、また散歩時の確認カードなど、きちんとしたチェック体制というかシステムを作っていて、小さな気づきから大きな事故を防止しようという取組は、好感が持てると思いました。

全体的にはA事業者の方が点数は良くなっておりませんが、あまり大きな差はないという風に考えております。

A事業者とB事業者とも評価にそれほど差が付きませんでした。資料を見る限り、どちらに保育室を任せてもよいという印象を受けています。

A事業者は、人材確保について、紹介制度や地域を絞った採用計画など工夫が見られます。また、研修メニューもきめ細やかさを感じました。子どもの人権への配慮については、性的マイノリティの記載は踏み込んでいて、これを踏まえて保育園でどう対応するのかを書かれている点を評価しました。近隣の学校や地元との連携・協力についても、地元のことをよく知っているという強みが資料からは感じ取りました。安全対策、危機管理については、具体性があり、きめ細やかな対応がされている点を評価しています。

B事業者は、基本理念に記載のあるプログラムについて、これは色々な考えはあるかと思いますが、今、港区の、特に保護者からは習い事のような要望が大変多く、ただ、保育園というところであまり差がつけられず、なかなか難しいところです。そういった中で、現在の港区の保護者ニーズに合致しているところが、基本理念の記載でうかがわれました。人材確保や人材育成については、保育士などを大事に育てて定着させようという姿勢が資料から

E委員	<p>うかがえ、研修も多様だと思いました。事業内容の、保護者との関わりや子どもの悩み等については、具体的に、実際に保育現場でどうしているのかが具体的に資料から読み取れたので、高く評価しました。安全対策については、今、バスの置き去りなどニュースになっていて、保育園に通っているお子さんたちの安全管理が注目されていると思いますが、園外活動での置き去りはない、起きない対応がきめ細かくされていると感じました。</p> <p>二次審査の質疑で聞かないとわからないことがありますけども、提案書の書面上ではどちらもお任せしていい事業者かと思っています。港区あるいは地元のことを非常に活かした、提案書の書き方をしている、非常に提案書がまとまっていると見えます。具体的には、全体的な計画の中でも、幼児期の終わりまでに育て欲しい10の姿、あるいは小学校への円滑な接続というのはとても重要ですが、ここはしっかりと書けているという点は評価したいと思います。</p> <p>B事業者も、外国籍の子どもの保護者に対する配慮といったことは非常によく書かれており、A事業者とB事業者を足すと非常に良くなると思いがら見てまいす。点数は僅差でA事業者が低くなりました。</p> <p>研修について、A事業者は社内研修が年間30回、社外研修が20回とあります。妥当な数字のように思えますが、職員がみな受講できているか実現性を二次審査で聞いてみたいと思います。</p>
委員長	<p>各委員からの講評が終わりましたが、何か意見や質問はありますか。特にないようでしたら、ご自身の採点について振り返る時間を設けます。採点を変更される委員はいますか。</p>
委員一同 委員長 事務局	<p>(なし)</p> <p>事務局から再度、点数と順位を発表してください。</p> <p>事務局より採点の集計報告</p> <p>事業者A 752点 第1位</p> <p>事業者B 675点 第2位</p>
委員長	<p>第一次審査通過事業者の決定に当たり、第一次審査の通過事業者は上位2者程度としておりますが、第一次審査採点結果を踏まえ、通過事業者数についてご意見はありますか。</p>
D委員 委員一同 委員長	<p>事業者A、事業者Bの2者がよいと思います。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、第一次審査の通過事業者は、事業者Aと事業者Bの2者としてよろしいでしょうか。</p>
委員一同 事務局	<p>(異議なし)</p> <p>議題2 第二次選考について (資料2・3・4について説明)</p>

委員長	第1回選考委員会で既に審議・了承した内容ですが、何か意見等はありませんか。
E委員	資料2の進行スケジュールについて、芝地区の選考委員会が同日3時までを予定しているので、開会時刻を3時から3時15分に変更してはいかがでしょうか。
委員一同	(異議なし)
委員長	それでは、開会時刻を15分繰り下げて、3時15分からとします。
事務局	【3 その他】 (事務局から今後の予定について説明)
委員長	何か意見等がありますか。
委員一同	(なし)
	【4 閉会】 (閉会の挨拶)